

榊原病院 Monthly

Vol.53
2022 January

独立行政法人国立病院機構 榊原病院
National Hospital Organization SAKAKIBARA Hospital

院長

村田 昌彦 (むらた まさひこ)

1962年生まれ

1991年富山医科薬科大学医学部卒

1996年同医学部大学院卒

2014年国立病院機構北陸病院精神科部長

2015年国立病院機構榊原病院副院長を経て、2018年国立病院機構榊原病院院長就任。



病院理念 この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

[令和4年に向けて]

院長 村田 昌彦

皆さま明けましておめでとうございます。

昨年は一昨年同様、あるいは一層、新型コロナウイルスに振り回された一年でした。コロナウイルスが拡大するたびに、患者さんへの面会の制限や、デイケアや訪問看護を縮小することになり、患者さんやご家族には大変なご不便を強いたこと、心苦しく感じております。ワクチンの接種によりコロナウイルスを抑制したかに見えましたが、年末から年始にかけて、東京や沖縄から新たな拡大が起きつつあるような報道もあり、今年も注意が必要と思われます。

また、年末には当院の職員による不祥事が起きました。被害に遭われた方に心よりお詫び申し上げますとともに、患者さんやご家族にご心配、ご迷惑をおかけしましたことにもお詫び申し上げます。今後同じことが起こらないよう、襟を正して日々の診療を誠実にやることで地域に尽くして参ります。

昨年は念願だった病棟の改修が完了いたしました。病棟は平成初期に建設されており耐震性は確保されていましたが、病棟内は薄暗く、面会室や集団での治療環境が整っていないなど、機能的ではありませんでした。改修された病棟は、外光を取り入れて明るくなり、スタッフステーションがオープンカウンターとなり、患者さんとの距離がより近くなりました。患者さんに寄り添う医療を具体的に行える環境が整ったと感じています。

コロナウイルスは現在進行形の課題ですが、このウイルスによって私たちの生活のあり方を見直すことになりました。このウイルスが拡大する前は、大人数での宴会などを開いて楽しく過ごしていたことを思い出します。令和4年になり、このウイルスが顕在化して2年経った今も大人数での宴会は感染のリスクを考えると行うことはできません。その一方で、学会や会議はオンラインでできるようになるなど、新たな変化もみられます。私たちの生活や考え方は、柔軟に変化していく必要があります。しかし、患者さんとの信頼を軸とした医療はぶれることなく変わらないことを大切にしていきたいと思っております。

今年もよろしくお願いいたします。

トピックス

行事・出来ごと

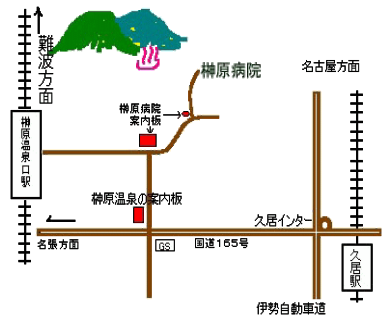
- 病棟の改修工事が完了いたしました。南1病棟は令和3年9月30日、北2病棟(旧南2病棟)は令和3年10月4日より新病棟にて運用しております。
- 新型コロナウイルス対応として、入院患者様の外出、外泊、面会を制限させていただいております。情報は随時更新しておりますので、院内掲示やホームページで御確認願います。

診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症
- 専門外来
- ・ こころのリスク外来

病床数 175床

- ・ 精神科病棟 157床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 強度行動障害ユニット



電車・バス / 近鉄久居駅下車 三交バス (車庫前行き) 約30分

自動車 / 久居インターより約20分

マイクロバス / 久居駅より直通バス(約25分)



〒514-1292 三重県津市榊原町777番地

<https://sakakibara.hosp.go.jp/>

代表電話 TEL 059-252-0211 FAX 059-252-0411

地域医療連携室 TEL 059-252-0660 FAX 059-252-0280

訪問看護ステーションゆうはあと TEL 059-252-0122 FAX 059-252-0126

地域医療連携室だより

〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

ゆうはあと訪問看護ステーション

令和元年6月に「ゆうはあと訪問看護ステーション」を開設しました。利用者様が地域で安心して暮らしていただけることを目標として訪問看護を提供しています。症状の観察や相談・お薬の管理・通院継続の支援・対人関係・コミュニケーションへの支援など、心身の回復のお手伝いを目的として行っています。

私たち「ゆうはあと」は、あなたの療養、そして暮らしを支えます。少しでも豊かに、少しずつ豊かになりますようにここで支えます。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、令和3年12月までに全症例は122例となりました。クロザピン通院専門外来も開設しております。



認知症医療、こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に認知機能が低下することや、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害は、若年の方にも見られます。

したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方に認知症が発症する傾向が多く見られます。身体的な問題については、法人内病院である三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

〈こころのリスク外来〉

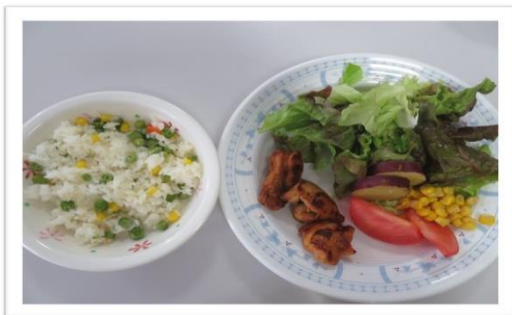
思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。



デイ・ケア案内

デイケアは月、火、水、金の午前9:30から午後3:30の時間で活動しています。生活リズムを整えることや、コミュニケーションの練習や、自分についてよりよく知ることや、楽しみを増やすことなどを目標に、デイケアをご利用いただいています。

デイケアは南2階に移転し、広くなりました。調理、パソコン、軽い運動も、デイケアでできるようになりました。他には、SST（社会スキルトレーニング）、WRAP（元気回復プラン）、コグニサイズ、脳トレや、音楽、カラオケ、手芸なども行っています。デイケアのプログラム予定表は外来で配布しています。当院ホームページにも掲載しています。どうぞお気軽にお問合せください。



調理実習の写真です。この日はデザートも作りました。



メンバーの作品です。手芸、アート、木工と創作活動がいろいろとできます。

※ホームページに「デイケアでの感染予防プログラムの学びと実践の取り組みについて」を掲載しています。



栄養コラム



「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」 調理済み食品を収載

「日本食品標準成分表」は日常的な食品の食べられる部分100gあたりに含まれる栄養成分（炭水化物、たんぱく質、脂質など）やエネルギーなどの数値が掲載されているものです。昨年、改訂版である2020年度版（八訂）が公開されました。近年、食生活や社会の環境の変化によって新たな食品が食卓に出現するようになってきました。成分表は、日本人が日常的に食べている食品の成分を示すものです。今回、えごま、ほんしゅうじか（ジビエとして）、コリンダー、こんにやくゼリーが追加されました。このように食卓が多様化するに伴って成分表の収載項目も変わっていきます。